

日本臨床内分泌病理学会 理事会 議事録

日 時：2023年9月21日（木）17：30～18：30

会 場：J：COM ホルトホール大分 4F 405 会議室

出席者：方波見卓行、近藤哲夫、西岡 宏、井下尚子、田辺晶代、中村保宏、柴田洋孝、
矢澤卓也、鈴木 貴、水上浩哉、中島正洋、大月道夫、井野元智恵、大山健一、
福岡秀規、和田典男、長村義之、山田正三、笹野公伸

欠席者：松野 彰、田中知明、伊藤公一、大池信之、菊地元史、成瀬光栄

同席者：事務局

議題：

I 評議員会・総会と共通の議題

<評議員会・総会の審議事項>

1. 2022年度決算及び監査報告の件
2. 2023年度決算見込み及び2024年度予算の件
3. 次々々期（第30回、2026年度）学術総会会長候補者の件
4. 名誉会員、功労評議員、新評議員推薦の件

<評議員会・総会の報告事項>

5. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件（6月理事会承認済）
6. 第27回（2023年度）学術総会研究賞の件
7. 第28回（2024年度）学術総会の準備状況

II 理事会のみの議題

<報告事項>

8. 学会ホームページへの企業バナー掲載状況
9. 第98回（2024年度）JES学術総会プログラム委員会へ提案する特別演題の募集について
10. 会費長期未納者の取り扱いについて
11. コンサルテーションの現状について
12. 寄付金、奨学金、賛助会員の状況
13. 学会ホームページ、会員専用サイトについて
14. 佐野賞について
15. 佐野賞・亀谷賞受賞者のその後の学会活動と細則の改訂について
16. その他

冒頭、方波見理事長より、会則の定足数を満たす理事が出席しているので、本理事会は成立する旨報告があり、引き続き同理事長により議事進行が行われた。

1. 2022 年度決算及び監査報告の件

- ・西岡財務担当理事より、2022 年度は 1,647,841 円の収入、1,161,589 円の支出があり、486,252 円の黒字決算であったことが報告された。
- ・同じく西岡会長（財務担当理事）より、第 26 回学術総会の決算の説明があった。
- ・井野元監事から、上記 2 件について田中監事と監査を行った結果、2022 年度決算は適正に執行されているとの監査報告があった。
- ・以上の審議の結果、2022 年度決算は全会一致で承認された。後日、評議員会・総会で承認を得る。

2. 2023 年度決算見込み及び 2024 年度予算の件

西岡財務担当理事より、2023 年度見込みに関し、収入の部はほぼ予算通り、支出の部は、新規事業費は発生せず、会議費、旅費交通費、通信運搬費、ホームページ作成・管理費の減少により当期支出合計は予算を下回る予定であり、その結果、当期収支差額は約 17 万円の黒字決算との見込みが報告された。

引き続き、同理事から、2024 年度予算案に関し、収入・支出とも基本的に 2023 年度予算及び見込みを踏襲して予算を計上し、当期収支差額は約 1.2 万円の黒字を見込むことが報告された。

以上、2023 年度決算見込み及び 2024 年度予算について審議の結果、これらは全会一致で承認された。後日、評議員会・総会で承認を得る。

3. 次々々期（第 30 回、2026 年度）学術総会会長候補者の件

方波見理事長より、和田典男 幹事（市立札幌病院）を次々々期会長に推挙したいとの提案があり、全会一致で承認された。後日、評議員会・総会で承認を得る。

4. 名誉会員、功労評議員、新評議員推薦の件

方波見理事長より理事会から、島津章（淡海医療センター）功労評議員を名誉会員として、臼井健（静岡社会健康医学大学院大学）評議員を功労評議員として推薦したいとの提案があり、全会一致で承認された。

また、大塚文男（岡山大学）、尾股慧（東北大学病院）、亀田亘（山形県立中央病院）、神澤真紀（神戸大学病院）、小林邦久（福岡大学筑紫病院）、須賀英隆（名古屋大学）の 6 名を新評議員として推薦したいとの提案があり、全会一致で承認された。後日、評議員会・総会で承認を得る。

5. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件

方波見理事長より各賞の受賞者が報告された。後日、評議員会・総会で報告される。

特別功労賞：覚道健一（和泉市立総合医療センター）、寺本 明（日本医科大学）

佐野賞：小野美澄（東北大学病院 糖尿病代謝・内分泌内科）

亀谷賞：阿部一朗（福岡大学筑紫病院、内分泌・糖尿病内科）

6. 第27回(2023年度)学術総会研究賞の件

柴田会長より受賞者について報告があった。後日、評議員会・総会で報告される。

最優秀賞：福元多鶴(九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学分野)

奨励賞：城之前翼(宮城県立こども病院 泌尿器科、東北大学大学院医学系研究科
医科学専攻 病理診断学分野)

7. 第28回(2024年度)学術総会の準備状況

中島会長(理事、長崎大学 原爆後障害医療研究所腫瘍・診断病理)より、第28回学術総会の概要が報告された。

テーマ：内分泌病理学とダイバーシティ

日時：2024年10月11日(金)・12日(土)

会場：出島メッセ長崎

プログラム：特別講演：諸橋憲一郎(九州大学)

「性スペクトラム」という最前線(仮題)

教育講演：伊達木澄人(長崎大学)

「小児期内分泌疾患の臨床病理(仮題)」

シンポジウム・WS(未定)

8. 学会ホームページへの企業バナー掲載状況

柴田広報担当理事より、現在、11社分のバナー広告が学会ホームページに掲載されていることが報告された。

9. 第98回JES学術総会プログラム委員会へ提案する特別演題の募集について

本学会代表プログラム委員の中村理事より、第98回日本内分泌学会学術総会のプログラム編成の基本方針の説明があり、特別講演、教育講演、クリニカルアワー、シンポジウム、その他要望等を9月25日までに提出いただきたいとの依頼があった。

10. 会費長期未納者の取り扱いについて

方波見理事長より、資料に記載の本年度末で3年間及び2年間の会費未納者について、本人あるいは指導教官を通じて会費納入の働きかけをお願いしたいこと、来年2月に会費再々請求を行った後、会費の納入がなければ3年間未納者は学会会則第6条に則り退会となることが説明された。

11. コンサルテーションの現状について

近藤副理事長(コンサルテーション委員長)より、資料の通り本年度上半期は4件の依頼があったことが報告された。

12. 寄付金、奨学金、賛助会員の状況

方波見理事長より、賛助会員(1件)より会費納入があったことが報告された。

13. 学会ホームページ、会員専用サイトについて

方波見理事長より、会員へのインセンティブとして会員限定で『内分泌病理の最新 Topics』を公開しているが、ID・PWが必要なため閲覧ができない不便が生じている等の意見を受け、一般ページでの公開を提案され、全会一致で承認された。ホームページ自体の更新頻度も低いので、先生方が開催される学術集会の告知などにも利用いただきたいと述べられた。

14. 佐野賞について

方波見理事長より、佐野賞基金の残金が2023年度分を含めあと4年ほどで消失するため、今後の対応についての検討依頼があり、次回理事会で検討することとなった。

15. 佐野賞・亀谷賞受賞者のその後の学会活動と細則の改訂について

方波見理事長より、佐野賞・亀谷賞受賞者の受賞後の学会活動状況が提示された。今後も定期的に理事会で受賞者の学会活動を報告し、学会発表への働きかけや内分泌病理の最新 Topics の執筆などに協力いただきたいとの提案があり、全会一致で承認された。

16. その他

方波見理事長より、2024年春理事会について、第97回日本内分泌学会学術総会会期中(2024/6/6~6/8)に実施予定であることが説明された。開催日については後日アンケート調査を実施する。

以上

(記録：事務局、理事長/副理事長/筆頭理事/会長：校閲済)